

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

＜市政相談連絡先＞

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

3月市議会定例会報告

平成22年第1回市議会定例会は、2月22日から3月17日までの24日間の会期で開かれました。本定例会では、平成22年度高崎市一般会計、9特別会計、上・下水道事業会計の各予算、中核市の指定の申出について、高崎市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定についてなどの議案の審議を行い、最終日に賛成、反対討論をし、いずれも原案のとおり可決しました。

3月の市議会は新年度予算を議決する重要な議会で、市長の施政方針や財務部長の提案説明を受けた後、会派の代表者による予算全般における総括質疑を行い、市長が答弁しました。また、各分野の事業説明については、5つの常任委員会において詳細に審議が行われました。

＜平成22年度予算関係報告＞

一般会計予算は、前年度比18.2%増の1,591億9,000万円となり、特別会計、企業会計を合算した予算総額は、2,486億9,226万円です。

財政の健全性を確保しながら、新市基本計画等に基づく施策や事業推進、厳しい経済状況に対処した中小企業の円滑な資金調達を確保するための措置、子ども手当創設への対応など、「安心・安全」で活力ある市民生活のための事業に重点的に予算が配分されています。

本市の経済力・文化力・市民力を結集し、大きな都市の力となるよう、効果的に予算を活用したまちづくりの実現に向けた予算と言えるでしょう。

安心で活力あるまちづくりの実現を！

- ★ 医療保健センター（仮称）建設事業 ⇒ 4,348,825千円
- ★ 生涯学習センター（仮称）建設事業 ⇒ 290,675千円
- ★ 高崎駅東口周辺整備事業 ⇒ 1,521,400千円
- ★ 芸術・文化ホール整備検討事業 ⇒ 12,348千円
- ☆ 子ども手当の支給 ⇒ 7,540,000千円
- ☆ 肺炎球菌及びヒブワクチン個別予防接種助成 ⇒ 6,611千円
- ☆ 中小企業向け融資促進実施 ⇒ 25,623,160千円



三月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十八人の議員が行い、高橋みなお議員は、三日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

中核市移行まで一年 市民に示すビジョンは

質問 今年は、市制施行一一〇周年という節目の年でもあり、平成二十二年四月の中核市移行まで一年と迫った今、市民サービスの確保や質の向上、自立した都市づくりの実現等が考えられる。現段階では、市民意識の高まりが感じられないのではこの不安もあるが、中核市になることのメリットを、今後どのようにアピールし共有化を図るのか。

答弁 今まで県で行ってきた事務等を一括して市で処理できることで、迅速できめ細かな行政サービスの提供が可能となる。特色あるまちづくりを推進し、地域経済の活性化も期待できる。市民への詳細な情報提供が重要であり、PRを検討していきたい。

質問 中核市移行により、約二四〇〇件以上の事務が権限委譲される。夢と希望の持てる自立都市の実現は、市民との約束でもあると認識しているが、各所管における取り組みと

ビジョンをどのように考えているのか。

答弁 福祉行政では、本市の実情に合ったきめ細かで、効率的・効果的な独自の事務遂行は大きなメリットである。

保健衛生行政では、保健所設置等により市民生活に対するセーフティネットの強化につながらずと考える。地域医療体制整備について、より地域性を踏まえた対応が可能になる。

都市整備においては、屋外広場物の許可事務があり、都市景観の向上を図るチャンスと捉え、まちづくりの一環として取り組む。

交通計画では、各地域から都心部へのアクセス性強化、高崎駅周辺の都市力増強の成果を各地域に波及させ再生につなげたい。

質問 市民サービス向上の一方で、事務量増加に係る職員の負担に対する配慮は検討されているのか。

答弁 専門職を含め退職数を超える採用で対応していく。事務量の適切な算定により組織機構の再編、定員管理に努めていく。

質問 将来的に政令指定都市を目指すためには、大きな理想や理念が必要である。中核市移行を地方制度改革に対応し都市間競争を勝ち抜くステップの一つとしてどのように考えているのか。

答弁 補正性の原理に基づき、国と地方の役割分担を見直し地域主権の確立が求められる。事務処理のスピードアップ、行政の

サービスアップ、本市の独自性アップ、都市のイメージアップを市民にアピールしたい。

新年度予算賛成討論(要旨)

政権交代により国民生活の向上・安定が期待されたが、景気や雇用等の厳しい状況が続いている。本市の新年度予算においては、市民の視線に立ち、選択と集中を考慮した予算であるかが問われたと認識している。

ハード事業だけでなく、市民の安心・安全を守るための施策も配慮され、「人づくりはまちづくり」の基本となるエネルギーを持つた人を育てることに力を注いだ予算であるとも受け止めている。市民力・地域力が十分に発揮され、本市の将来に夢と希望が持てる予算であり、市民のために有効活用されることを期待し賛成討論としたい。

後援会親睦旅行のご案内

お座敷列車で行く

「奥只見湖遊覧船の旅」

＊五月二十三日(日) 日帰り

日頃の感謝の気持ちを込めて、皆様と一緒にゆつくりと楽しい時間を過ごしたいと思っておりますので、是非ご参加ください。

